

## 安全データシート

発行日 2026/01/13

1. 化学品及び会社情報	
製品名	Sodium dodecyl sulphate Ultrapure
製品コード (製造元)	BIB2008
製品コード (販売元)	—

供給者	富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

## 2~14章

製造元SDS(翻訳・次頁以降)による。

## 15. 適用法令

## 国内法規

毒物及び劇物取締法	—
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)

## 労働安全衛生法 濃度基準値

物質名	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値
該当成分なし	—	—

## 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) No.275

化学名	CASRN	含量	該当法令
Sodium dodecyl sulphate ultrapure	151-21-3	100%	安衛法 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2) PRTR 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) 皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項)

## 16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等	供給者および日本法規(毒物及び劇物取締法、労働安全衛生法 法第57条の2、化学物質排出把握管理促進法(PRTR法))について本頁に記載します。 製品の詳細については次頁より製造元SDSを翻訳したものを記載します。
------------------	---

## 免責事項

和文SDSは、製造元SDSを機械翻訳したものであり、不自然な表現が含まれることがあります。

より正確な情報に関しては製造元の原文SDSでご確認願います。

記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

以上



## ドデシル硫酸ナトリウム 超高純度 アポロ・サイエンティフィック

部品番号: BIB2008  
バージョン番号: 1.2  
安全データシート

ケムウォッチ危険警報コード: 3

発行日: 2023年8月6日  
印刷日: 2023年8月6日  
S.GHS.GB-NIR.EN

### セクション 1 単一物質/混合物および会社/事業体の識別

#### 製品識別子

製品名	ドデシル硫酸ナトリウム 超高純度
化学名	ラウリル硫酸ナトリウム
別名	なし
品名	可燃性固体、有毒、有機、その他
化学式	C12H26O4S.Na
その他の識別方法 識別	なし
CAS番号	151-21-3*

#### 単一物質または混合物の特定された関連使用および推奨されない使用

特定された関連使用	該当なし
-----------	------

#### 安全データシートの製造者または供給者の詳細

登録会社名	アポロ・サイエンティフィック	アポロ・サイエンティフィック株式会社
住所	ホワイトフィールド・ロード、ブレッドベリー SK62QR イギリス	ホワイトフィールド・ロード 不可用 SK6 2QR イギリス (NI)
電話番号	01614060505	+44(0) 161 406 0505
ファックス	0161 406 0506	利用不可
ウェブサイト	<a href="http://www.apolloscientific.co.uk/">http://www.apolloscientific.co.uk/</a>	<a href="http://apolloscientific.co.uk">apolloscientific.co.uk</a>
Eメール	sales@apolloscientific.co.uk	sales@apolloscientific.co.uk

#### 緊急連絡先

協会 / 組織	利用不可
緊急連絡先 番号	利用不可
その他の緊急 電話番号	利用不可

### セクション 2 危険有害性の要約

#### 物質又は混合物の分類

(EC) No. 1907/2006 に基づく分類 規則 (EC) No 1 272/2008 [CLP] および 改正案 (11) に基づく分類	H311 - 急性毒性 (経皮) 区分3、H302 - 急性毒性 (経口) 区分4、H315 - 皮膚腐食性/刺激性区分2、 H319 - 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2、H228 - 可燃性固体 区分1
--	--

## ドデシル硫酸ナトリウム 超高純度

## 凡例:

1. Chemwatch による分類; 2. 規制(EU)第1272/2008号 - 付属書VIに基づく分類

## ラベル要素

危険絵表示	
-------	--

## 注意喚起語

危険

## 危険性情報

H311	皮膚に接触すると有毒。
H302	飲み込むと有害。
H315	皮膚刺激。
H319	強い眼刺激。
H228	可燃性固体。

## 危険有害性情報 予防措置

P210	熱、火花、裸火、熱い面から離して保管すること—禁煙。
P280	保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
P240	容器を接地すること/アースをとることおよび受入設備をボンディングしてください。
P241	防爆仕様の電気機器、換気装置、照明器具、本質安全防爆機器を使用すること。
P264	取扱い後は、身体の露出部分をすべて十分に洗浄してください。
P270	この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと

## 予防措置 対応

P370+P378	火災発生時: アルコール耐性泡消火剤または通常のタンバク質泡消火剤を使用して消火してください。
P302+P352	皮膚に付着した場合: 多量の水で洗い流す。
P305+P351+P338	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すことその後も洗浄を続けること。
P337+P313	眼の刺激が続く場合: 医師の診察を受けること。
P361+P364	汚染された衣類を直ちに脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
P301+P312	飲み込んだ場合: 気分がすぐれない場合は、毒物管理センターまたは医師に連絡すること。
P330	口をすすぐこと
P332+P313	皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察を受けること。

## 予防措置

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

## 予防措置 廃棄

P501	内容物/容器は、地域の規制に従って、認可された有害廃棄物または特別廃棄物収集場所に廃棄してください。
------	--

## セクション 3 組成及び成分情報

## 単一物質

CAS番号	重量%	名称	規則 (EC) No 1272/2008 [CLP] および改正	SCL / M因子
入手不可	100	ドデシル硫酸ナトリウム 硫酸塩 超高純度	急性毒性 (経皮) 区分3、急性毒性 (経口) 区分4、皮膚腐食性/刺激性区分2、眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性カテゴリ2、可燃性固体区分1; H311、H302、H315、H319、H228 <sup>[1]</sup>	なし 入手可能

凡例: 1. Chemwatch による分類; 2. 規則(EU)No 1272/2008 - 付属書VIに基づく分類; 3. C&amp;Lに基づく分類; \* EU I/OELVs

入手可能: [e] 内分必かく乱特性を持つ単一物質

## 混合物

単一物質の組成については上記セクションを参照

## ドデシル硫酸ナトリウム 超純品

## 第4節 応急措置

## 応急措置の説明

眼に入った場合	本品が目に入った場合： <ul style="list-style-type: none"><li>直ちに新鮮な流水で洗い流してください。</li><li>まぶたを離し、離した状態を保ち、時々まぶたを持ち上げて上まぶたと下まぶたを持ち上げることで、まぶたを開いた状態を保ち、目を完全に洗浄してください。</li><li>直ちに医師の診察を受けてください。痛みが続く場合や再発した場合は、医師の診察を受けてください。</li><li>眼の負傷後のコンタクトレンズの除去は、熟練した担当者によってのみ行われるべきです。</li></ul>
皮膚に付着した場合	皮膚や毛髪に付着した場合： <ul style="list-style-type: none"><li>流水（可能であれば石鹸も使用）で皮膚と毛髪を洗い流してください。</li><li>刺激が生じた場合は医師の診察を受けなさい。</li></ul>
吸入	<ul style="list-style-type: none"><li>煙や燃焼生成物を吸入した場合、汚染区域から避難させてください。</li><li>患者を横たえ、温かくし安静にさせる。</li><li>義肢などの義肢は気道を塞ぐ可能性があるため、可能な限り応急処置を開始する前に取り外すこと。</li><li>呼吸がない場合は人工呼吸を施す。可能であれば、要求弁式人工呼吸器、バッグ・バルブ・マスク装置、または訓練済みのポケットマスクを使用する。マスクを使用すること。必要に応じて心肺蘇生法を実施する。</li><li>病院または医師のもとへ搬送してください。</li></ul>
飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"><li>飲み込んだ場合、無理に吐かせないこと。</li><li>嘔吐が生じた場合は、患者の体を前傾させるか左側臥位（可能であれば頭部を下にした姿勢）とし、気道確保と誤嚥防止を図ること。誤嚥を防ぎます。</li><li>患者を注意深く観察する。</li><li>眠気や意識低下（意識不明になる状態）の兆候が見られる人には、決して液体を与えないでください。</li><li>口をすすぐために水を飲ませ、その後、被害者が無理なく飲める範囲で、ゆっくりと水分を補給する。</li><li>医師の指示を仰ぐこと。</li></ul>

## 直ちに医療処置および特別な治療が必要であることの示唆

中毒が疑われる全ての症例と同様に、救急医療のABCDE（気道確保、呼吸管理、循環維持、意識状態確認、曝露評価）を実施した後、毒物学のABCDE（解毒剤、基礎知識、吸収阻害、分布変化、排泄阻害）を適用する毒物学のABCDE（解毒剤、基礎処置、吸収変化、分布変化、排泄変化）に従う。

毒物（特異的治療法が存在しない場合）：

## 基本治療

- 必要に応じて吸引装置を用いて気道確保を行う。
  - 呼吸不全の兆候を観察し、必要に応じて換気を補助する。
  - 非再呼吸マスクを用いて10～15 L/分の酸素を投与する。
  - 肺水腫の有無を監視し、必要に応じて治療を行う。
  - ショックの有無を監視し、必要に応じて治療する。
  - 痙攣を予期する。
  - 催吐剤は使用しない。飲み込んだ場合、患者が嚥下可能であれば、口をすすぐこと（推奨5ml/kg）をして希釈する。
- 嘔吐剤は使用しない。摂取が疑われる場合、嘔吐反射が強くよだれを垂らさない嚥下可能な患者には、最大200mlの水（推奨5ml/kg）を投与して希釈する。

## 高度治療

- 意識不明の患者または呼吸停止が起きた場合、気道確保のために経口気管挿管または経鼻気管挿管を検討すること。
- バッグ・バルブ・マスクを用いた陽圧換気が使用される可能性がある。
- 不整脈の有無を監視し、必要に応じて治療を行う。
- 静脈内DSW（生理食塩水）を全身循環量（TKO）に基づき開始する。低血容量の兆候がある場合は乳酸リンゲル液を使用する。輸液過多は合併症を引き起こす可能性がある。
- 肺水腫に対しては薬物療法を検討すべきである。
- 低血圧と血液量減少の兆候がある場合は、輸液を慎重に行う必要がある。輸液過多は合併症を引き起こす可能性がある。
- 痙攣にはジアゼパムで治療する。
- 眼洗浄補助には塩酸プロバラカインを使用すること。

ブロンスタイン、A.C. と カランズ、PL

有害物質暴露に対する緊急処置：第2版 1994年

## 第5章 消火措置

## 消火剤

小規模火災の場合：

粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧または泡消火剤。

大規模火災の場合：

水噴霧、霧状水、または泡消火剤。

## 基材または混合物に起因する特殊な危険性

## ドデシル硫酸ナトリウム 超純

火災との不適合性	知られていない。
----------	----------

## 消防隊への助言

消火活動	<ul style="list-style-type: none"><li>消防署に通報し、火災の危険性のある場所と性質を伝える。</li><li>全身防護服と呼吸用保護具を着用すること。</li><li>あらゆる手段を用いて、流出物が排水溝や水路に流入するのを防止すること。</li><li>安全な距離から、十分な遮蔽物を利用して消火活動を行うこと。</li><li>安全が確認できたら、蒸気火災の危険性がなくなるまで電気機器の電源を切ってください。</li><li>微細な水噴霧を使用して火災を制御し、隣接区域を冷却すること。</li><li>液体の溜まりに水を噴霧することは避けてください。</li><li>高温が疑われる容器には<b>絶対に</b>近づかないでください。</li><li>安全が確認できる場合は、容器を火災の経路から移動させる。水噴霧を発生させる。</li><li>安全が確認できる場合は、容器を火災の進行経路から移動させる。</li></ul>
火災・爆発の危険性	<ul style="list-style-type: none"><li>可燃性固体で、水で部分的に濡れていても容易に燃焼し、炎を伝播させる。</li><li>摩擦、熱、火花、炎などあらゆる着火源により火災や爆発を引き起こす可能性がある。</li><li>激しく燃焼する可能性がある。</li><li>空気と火薬・爆薬混合物を形成する可能性がある。</li><li>消火後も<b>再燃する</b>可能性がある。</li><li>加熱により容器が破裂する恐れがある。</li><li>固体は加熱または火災に巻き込まれると溶けて流れる可能性がある。</li><li>流出物は水路を汚染する恐れがある。</li><li>粉塵の発生、特に密閉された空間や換気のない場所での粉塵の雲の発生は避けること。粉塵は空気と混合して爆発性混合物を形成する可能性があるためである。空気と混合して爆発性混合物を形成する恐れがある。固体の微細な粉砕によって発生する粉塵の雲は特に危険であり、微細な粉塵の堆積物は急速かつ激しく燃焼する可能性がある。</li><li>乾燥した粉塵は、乱気流、空気輸送、注ぎ込み、排気ダクト内、輸送中に静電的に帯電する可能性があり、これにより着火源となる可能性がある。</li><li>分解生成物は刺激性、毒性、または腐食性を有する可能性がある。</li></ul>

## 第6節 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

第8項を参照

## 環境に対する注意事項

第12項を参照

## 封じ込め及び浄化の方法と材料

微量漏出物	<ul style="list-style-type: none"><li>すべての着火源を除去してください。</li><li><b>漏出物に触れたり、その上を歩いたりしないでください。</b></li><li>漏出物は直ちに清掃してください。</li><li>皮膚や目への接触を避ける。</li><li>粉塵の発生を防止してください</li><li>清潔なシャベル（できれば火花を散らさないもの）で、材料を清潔で乾燥した容器に入れ、ゆるく覆う。</li><li>漏出物から容器を移動させる。</li><li>保護具を使用して、単一物質との接触を制限する。</li></ul>
大量漏出物時	<ul style="list-style-type: none"><li>作業員を避難させ、風上へ移動する。</li><li>消防署に通報し、火災の危険性のある場所と性質を伝える。</li><li><b>漏出物に触れたり、その上を歩いたりしないでください。</b></li><li>完全な防護服と呼吸用保護具を着用すること。</li><li>あらゆる手段を用いて、流出物が排水溝や水路に流入するのを防止すること。</li><li>禁煙、裸火及び発火源禁止。</li><li>換気を強化してください。</li><li>安全に対処できるなら、漏洩を止めること</li><li>砂、土、パーミキュライトで封じ込め、または覆ってください。</li><li>火花を散らさないシャベルと防爆装置のみを使用してください。</li><li>回収可能な製品は、リサイクル用にラベル付きの容器に回収する。</li><li>固形残渣を回収し、廃棄用にラベルを貼ったドラム缶に密封する。</li><li>水で洗浄し、後日の廃棄のために堤防で囲う。排水路への流出を防止すること。</li><li>清掃作業後は、保管および再利用前に、すべての防護服および装備を除染し洗濯すること。</li><li>排水路や水路の汚染が発生した場合は、緊急対応機関に連絡すること。</li></ul>

保護具に関する情報は、SDSの第8項を含む。

## 第7節 取扱い及び保管上の注意

## 安全な取扱いに関する注意事項

安全な取扱い	<ul style="list-style-type: none"><li>吸入を含め、あらゆる身体への接触を避けること。</li><li>過剰暴露の危険がある場合は保護服を着用してください。</li><li>換気の良い場所で使用してください。</li><li>くぼみや排水溝での濃縮を防止してください。</li><li>大気状態を確認するまで閉鎖空間に入らないでください。</li><li>人体、露出した食品、調理器具に接触させないでください。</li><li>喫煙、裸火、発火源を避けること。</li><li>取扱い中は飲食・喫煙をしないこと。</li><li>不適合物質との接触を避ける。</li><li>使用しないときは容器を確実に密閉してください。</li><li>容器の物理的損傷を避けてください。</li><li>使用後は必ず石鹸と水で手を洗ってください。取扱い後は必ず石鹸と水で手を洗ってください。</li><li>作業服は別々に洗濯すること。汚染された衣類は再使用前に洗濯すること。</li><li>適切な作業慣行を使用してください。</li><li>本SDSを含む製造者の保管及び取扱い上の注意を遵守してください。</li><li>安全な作業環境を維持するため、確立された暴露基準に対して定期的に大気をチェックすること。維持してください。</li></ul>
その他の情報	<p><b>少量の場合：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>屋内の耐火キャビネット、または不燃構造の室内に保管すること。</li><li>保管場所内またはその近くに十分な携帯用消火器を設置すること。</li></ul> <p><b>梱包保管の場合：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>承認された耐火区域において、元の容器で保管すること。</li><li>喫煙、裸火、熱源、発火源を禁止する。</li><li>穴、窪地、地下室、または蒸気が滞留する可能性のある区域には保管しないでください。</li><li>容器は確実に密閉すること。</li><li>互換性のない物質から離し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。</li><li>容器を物理的損傷から保護し、定期的に漏れがないか点検してください。</li><li>容器を天候や直射日光に晒さないように保護すること。ただし、以下の場合はこの限りではない：(a) 梱包が金属類またはプラスチック製である場合 構造である場合；(b) 梱包が確実に閉鎖されており、保管区域内ではいかなる目的でも開封されない場合 (c) 危険物によって汚染される可能性のある雨水が確実に回収・安全に処理されるよう十分な注意事項が講じられている場合 安全に回収・処分されるよう十分な予防措置が講じられている場合を除く。</li><li>危険物の長期保管を防ぐため、適切な在庫管理措置を維持すること。</li><li>本SDSを含む製造者の保管及び取扱い上の注意を遵守すること。</li></ul>

## 安全な保管条件（不適合物質を含む）

適切な容器	<p>低粘度材料および固体について：</p> <p>ドラム缶およびジェリカンは、蓋が取り外せないタイプのものを使用すること。</p> <p>缶を内梱包として使用する場合、缶はねじ込み式の蓋を備えていること。</p> <p>粘度が2680 cSt以上（23°C）の材料の場合：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>取り外し可能なヘッド梱包および</li><li>摩擦式蓋付き缶が使用可能です。</li></ul> <p>複合梱包を使用する場合、漏れが生じた際に完全に吸収できる十分な不活性吸収材を充填すること。</p> <p>発生する可能性のある漏出を完全に吸収できる十分な量の不活性吸収材を充填すること。ただし、梱包が密閉型の成形プラスチック箱であり、かつ単一物質がプラスチックと不適合でない場合はこの限りではない。プラスチックと互換性がない場合を除く。</p> <p>容器等級およびHのすべての組み合わせ包装には、緩衝材を含む必要があります。</p>
保管上の不適合性	<p>なし</p> <ul style="list-style-type: none"><li>吸湿性がある</li></ul>

## セクション 8 ばく露防止及び保護措置

## 管理パラメータ

職業ばく露限界 (OEL)

成分データ

利用不可

緊急時限界

成分	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3
ドデシル硫酸ナトリウム 超純水	未提供	なし	なし

## ドデシル硫酸ナトリウム 超純品

成分	元の IDLH	改訂 IDLH
ドデシル硫酸ナトリウム 超純	入手不可	利用不可

## 暴露管理

	<p>設備対策は、危険を除去するか、作業者と危険の間に障壁を設けるために使用されます。適切に設計された設備対策は、作業者を保護する上で非常に効果的であり、通常、作業者の操作に依存せず高いレベルの保護を提供する。</p> <p>設備対策の基本的な種類は以下の通りである：</p> <p>作業活動やプロセスの実施方法を変更してリスクを低減するプロセス管理。</p> <p>排出源の囲い込みおよび/または隔離により、選定された危険を労働者から「物理的に」遠ざけ、換気により作業環境において戦略的に空気を「供給」および「除去」する換気。換気は空気汚染物質を除去または希釈できる場合がある。適切に設計されていること。換気システムの設計は、使用される特定のプロセスおよび化学物質または汚染物質に適合していなければならない。</p> <p>従業員の過剰暴露を防ぐため、事業主は複数の管理手法を使用する必要がある場合がある。</p> <p>通常、局所排気換気が必要である。過剰暴露のリスクがある場合は、認可された呼吸用保護具を着用すること。適切な装着が十分な保護を得るために不可欠である。特殊な状況では、供給式呼吸用保護具が必要となる場合がある。正しいフィット感が必須である。</p> <p>十分な保護を得るために不可欠である。特殊な状況では、供給式呼吸用保護具が必要となる場合がある。適切な装着が十分な保護を確保するために不可欠である。</p> <p>承認された自給式呼吸装置（SCBA）が状況によっては必要となる場合があります。</p> <p>倉庫や密閉保管区域では十分な換気を行ってください。作業場で発生する空気汚染物質は様々な性質を有します。</p> <p>"逃避速度"を持ち、これが汚染物質を効果的に除去するために必要な新鮮な循環空気の「捕捉速度」を決定する。</p> <p>汚染物質を除去するために必要な新鮮な循環空気の「捕捉速度」を決定します。</p>																				
適切な技術的 対策	<table><thead><tr><th>汚染物質の種類：</th><th>空気速度:</th></tr></thead><tbody><tr><td>溶剤、蒸気、脱脂剤など、タンクから蒸発（静止空気中）。</td><td>0.025-0.5 m/s (50-100 f/min.)</td></tr><tr><td>エアゾール、注湯作業からの煙、間欠的な容器充填、低速コンベア移送、溶接、スプレードリフト、めっき酸の煙、酸洗い（発生源付近の低速領域へ放出）</td><td>0.5-1 m/s (100-200 f/min.)</td></tr><tr><td>直接スプレー、浅いブースでのスプレー塗装、ドラム充填、コンベア積載、粉砕機粉塵、ガス排出1-2.5 m/s (200-500 (高速気流領域への能動的発生)</td><td>f/min.)</td></tr><tr><td>研削、研磨ブラスト、タンブリング、高速ホイール発生粉塵（初期速度が非常に高い状態で放出され非常に高速な気流領域へ放出される）。</td><td>2.5-10 m/s (500-2000 f/min.)</td></tr></tbody></table> <p>各範囲内で適切な値は以下に依存する：</p> <table><thead><tr><th>範囲の下限</th><th>範囲の上限</th></tr></thead><tbody><tr><td>1: 室内の気流が最小限、または捕獲に有利</td><td>1: 室内の気流が妨げられる</td></tr><tr><td>2: 毒性が低い、または迷惑なだけの汚染物質。2: 毒性の高い汚染物質</td><td></td></tr><tr><td>3: 断続的で、生産量が少ない。</td><td>3: 高生産、高使用</td></tr><tr><td>4: 大型フードまたは大気流の移動</td><td>4: 小規模フード・局所制御のみ</td></tr></tbody></table> <p>単純な理論によれば、単純な排気管の開口部から離れるにつれて空気速度は急速に低下する。速度は一般的に排気点からの距離の二乗に反比例して減少する（単純な場合）。したがって、空気速度は汚染源からの距離を考慮した上で、抽出位置を適切に調整すべきである。例えば、抽出ファンにおける空気速度は、タンク内で発生する溶剤を抽出するために、最低でも1~2 m/s（200~400 f/min）とすべきである。</p> <p>例えば、タンクから2メートル離れた地点で発生する溶剤を吸引する場合、吸引ファンの空気流速は最低1-2 m/s（200-400 f/min）とする必要がある。</p> <p>その他の機械的要因により排気性能が低下する場合がある。</p> <p>装置においては、排気システムを設置または使用する際に、理論上の空気速度を10倍以上の係数で乗算することが不可欠である。</p> <p>実環境または複雑な状況下での理論上の空気速度を10倍以上の係数で乗算することが不可欠である。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>火花を発生させない接地された換気システム。外部に直接排出し、通常の換気システムとは分離すること</li><li>集塵装置には爆発ベントを設置すること</li></ul>	汚染物質の種類：	空気速度:	溶剤、蒸気、脱脂剤など、タンクから蒸発（静止空気中）。	0.025-0.5 m/s (50-100 f/min.)	エアゾール、注湯作業からの煙、間欠的な容器充填、低速コンベア移送、溶接、スプレードリフト、めっき酸の煙、酸洗い（発生源付近の低速領域へ放出）	0.5-1 m/s (100-200 f/min.)	直接スプレー、浅いブースでのスプレー塗装、ドラム充填、コンベア積載、粉砕機粉塵、ガス排出1-2.5 m/s (200-500 (高速気流領域への能動的発生)	f/min.)	研削、研磨ブラスト、タンブリング、高速ホイール発生粉塵（初期速度が非常に高い状態で放出され非常に高速な気流領域へ放出される）。	2.5-10 m/s (500-2000 f/min.)	範囲の下限	範囲の上限	1: 室内の気流が最小限、または捕獲に有利	1: 室内の気流が妨げられる	2: 毒性が低い、または迷惑なだけの汚染物質。2: 毒性の高い汚染物質		3: 断続的で、生産量が少ない。	3: 高生産、高使用	4: 大型フードまたは大気流の移動	4: 小規模フード・局所制御のみ
汚染物質の種類：	空気速度:																				
溶剤、蒸気、脱脂剤など、タンクから蒸発（静止空気中）。	0.025-0.5 m/s (50-100 f/min.)																				
エアゾール、注湯作業からの煙、間欠的な容器充填、低速コンベア移送、溶接、スプレードリフト、めっき酸の煙、酸洗い（発生源付近の低速領域へ放出）	0.5-1 m/s (100-200 f/min.)																				
直接スプレー、浅いブースでのスプレー塗装、ドラム充填、コンベア積載、粉砕機粉塵、ガス排出1-2.5 m/s (200-500 (高速気流領域への能動的発生)	f/min.)																				
研削、研磨ブラスト、タンブリング、高速ホイール発生粉塵（初期速度が非常に高い状態で放出され非常に高速な気流領域へ放出される）。	2.5-10 m/s (500-2000 f/min.)																				
範囲の下限	範囲の上限																				
1: 室内の気流が最小限、または捕獲に有利	1: 室内の気流が妨げられる																				
2: 毒性が低い、または迷惑なだけの汚染物質。2: 毒性の高い汚染物質																					
3: 断続的で、生産量が少ない。	3: 高生産、高使用																				
4: 大型フードまたは大気流の移動	4: 小規模フード・局所制御のみ																				
個人用保護具 対策、例えば 個人用保護具 装備																					
眼と顔の保護具	<ul style="list-style-type: none"><li>サイドシールド付き安全メガネ。</li><li>化学用ゴーグル。</li><li>コンタクトレンズは特別な危険をもたらす可能性がある。ソフトコンタクトレンズは刺激物質を吸収し濃縮する恐れがある。レンズの装着方法や使用制限を記載した文書を、各職場や作業ごとに作成すべきである。</li></ul> <p>各職場または作業ごとに、レンズの着用または使用上の制限を記載した文書を作成すべきである。これには使用化学物質の種類に応じたレンズの吸収・吸着に関する検討と、傷害発生実績の記録を含めるべきである。</p> <p>医療従事者および救急要員は、コンタクトレンズの除去方法について訓練を受けるべきであり、適切な除去器具はすぐに使用できる状態で用意しておく必要がある。</p> <p>化学物質に曝露した場合は、直ちに眼の洗浄を開始し、可能な限り速やかにコンタクトレンズを除去すること。レンズは目の充血や刺激性の最初の兆候が見られた時点で外すこと。作業員が清潔な環境下でのみレンズを外すように指示すること。手を十分に洗うこと。[CDC NIOSH Current Intelligence Bulletin 59]、[AS/NZS 1336 または国内相当規格]</p>																				
皮膚保護	下記の手の保護具を参照																				



## ドデシル硫酸ナトリウム 超純品

水への溶解度	不明	溶液としてのpH (1%)	不明
蒸気密度 (空気=1)	不明	揮発性有機化合物 g/L	不明

## 第10節 安定性及び反応性

反応性	セクション7を参照
化学的安定性	<ul style="list-style-type: none"><li>不適合物質の存在下では不安定。</li><li>製品は安定しているとみなされる。</li><li>危険な重合は発生しない。</li></ul>
危険な反応の可能性 反応の可能性	セクション7を参照
避けるべき条件	セクション7を参照
不適合物質	セクション7を参照
危険な分解 製品	セクション5を参照

## セクション 11 有害性情報

## 毒性作用に関する情報

吸入	本物質は呼吸器刺激を引き起こすとは考えられていない（動物モデルを用いたEC指令による分類に基づく）。しかしながら粉塵や煙を吸入すると、特に長期間にわたる場合、呼吸器の不快感や、時には苦痛を引き起こす可能性があります。通常の取扱い過程で材料から発生する粉塵を吸入すると、
飲み込んだ場合	本物質を飲み込んだ場合、個人の健康を損なう恐れがあります。
皮膚に付着した場合	本物質は、接触後の健康被害や皮膚刺激を引き起こすとは考えられていません（EC指令による分類に基づく）。動物モデルを用いた研究）。しかしながら、適切な衛生管理においては、曝露を最小限に抑え、適切な手袋を使用することが求められる。開放創、擦過傷、または刺激性のある皮膚を本物質に曝露してはならない。切創、擦過傷、病変部などを通じて血液系に侵入すると、全身的な損傷や有害な影響を引き起こす可能性がある。材料の使用前に皮膚を検査し、外部損傷がある場合は適切に保護してください。
目	本品は、一部の人において眼刺激や損傷を引き起こす可能性があります。
慢性	本製品への長期曝露は、健康に有害な慢性影響を引き起こすとは考えられていません（EC指令による動物モデル分類に基づく）。による動物モデル分類に基づく分類）による健康への慢性的な悪影響を引き起こすことはないと考えられていますが、あらゆる経路による曝露は当然のことながら最小限に抑えるべきです。

## 凡例:

- 欧州ECHA登録単一物質から得られた値・急性毒性2. 製造者の安全データシート (SDS) から得られた値。
- 特に指定のない限り、RTECS (単一物質の毒性効果登録簿) から抽出されたデータ

急性毒性	✓	発がん性	✗
皮膚腐食性/刺激性	✓	生殖毒性	✗
重篤な眼 損傷・刺激	✓	特定標的臓器毒性 - 単回ばく露	✗
呼吸器または皮膚 感作性	✗	特定標的臓器毒性 - 反復ばく露	✗
変異原性	✗	誤えん有害性	✗

## 凡例:

- ✗ - データが入手不可能、または分類基準を満たさない
- ✓ - 分類に必要なデータが利用可能

## 第12節 環境影響情報

## 毒性

## 凡例:

- 出典: 1. IUCLID毒性データ 2. 欧州ECHA登録単一物質 - 生態毒性情報 - 水生毒性  
4. 米国環境保護庁 (EPA), Ecotox データベース - 水生毒性データ 5. ECETOC 水生危険性評価データ 6. NITE (日本) -

## ドデシル硫酸ナトリウム 超純品

生物濃縮データ7. 経済産業省 (日本) - 生物濃縮データ8. ベンダーデータ

下水道や水路に流さないでください。

## 残留性および分解性

成分	残留性: 水/土壌	残留性: 空気
	全成分についてデータなし	全成分についてデータなし

## 生物蓄積性

成分	生物蓄積性
	全成分についてデータなし

## 土壌中での移動性

成分	移動性
	全成分についてデータなし

## セクション13 廃棄上の注意

## 廃棄物処理方法

製品/梱包	廃棄方法
	<ul style="list-style-type: none"><li>可能な限りリサイクルしてください。</li><li>リサイクル方法については製造者に問い合わせてください。適切な処理・処分施設がない場合は、地方自治体または地域の廃棄物管理当局に処分方法をご相談ください。処理または廃棄施設が特定できない場合は、</li><li>以下の方法で廃棄してください: 化学廃棄物および/または医薬品廃棄物の受け入れを特別に認可された埋立処分場への埋設、または認可された焼却装置での焼却 (適切な可燃性物質と混合した後)。認可された装置による焼却 (適切な可燃性物質と混合後)</li><li>空容器は除染すること。容器を洗浄・廃棄するまで、ラベルの安全対策に全て従うこと。</li></ul>

## セクション 14 輸送上の注意

## ラベルが必要

製品/梱包	ラベル
	 
海洋汚染物質	いいえ

## 陸上輸送 (ADR-RID(陸上・列車))

国連番号または識別番号	2926
国連正式品名	可燃性固体、有毒、有機、その他
輸送危険有害性クラス	危険物分類 4.1 補助危険 6.1
容器等級	II
環境危険性	該当なし
特別な注意事項	危険有害性の要約 (ケムラー) 46 分類コード FT1 危険表示 4.1 +6.1 特別規定 274 限定数量 1 kg トンネル規制コード 2 (E)
ユーザー	

## 航空輸送 (ICAO-IATA(航空)/ DGR)

国連番号	2926
国連正式品名	可燃性固体、有毒、有機性、その他*

## ドデシル硫酸ナトリウム 超純品

輸送危険有害性クラス	ICAO/IATA クラス	4.1	
	ICAO / IATA(航空) サブリスク	6.1	
	ERGコード	3P	
容器等級	II		
環境危険性	該当なし		
特別な注意事項	ユーザー	特別規定	A3 A803
		貨物のみ梱包指示	448
		貨物のみ最大数量/梱包	50 kg
		旅客および貨物梱包指示	445
		旅客および貨物の最大数量/梱包	15 kg
		旅客・貨物限定数量梱包指示書	Y440
		旅客・貨物用1梱包あたりの最大数量	1 kg

## 海上輸送 (IMDG(海上)/GGVSee)

国連番号	2926		
国連正式品名	可燃性固体、有毒、有機、その他		
輸送危険有害性クラス	IMDG(海上)クラス	4.1	
	IMDG(海上) サブリスク	6.1	
容器等級	II		
環境危険性	該当なし		
特別な注意事項	ユーザー	EMS 番号	F-A, S-G
		特別規定	274
		限定数量	1 kg

## 内陸水路輸送 (ADN(国際航空運送協会))

国連番号	2926		
国連正式品名	可燃性固体、有毒、有機性、その他		
輸送危険有害性クラス	4.1	6.1	
容器等級	II		
環境危険性	該当なし		
特別な注意事項	ユーザー	分類コード	FT1
		特別規定	274; 802
		限定数量	1 kg
		必要な機器	PP, EP
		防火コーン数	2

## MARPOL附属書II及びIBCコードに基づくバルク輸送

該当なし

## MARPOL附属書V及びIMSBCコードに基づくバルク輸送

製品名	グループ
ドデシル硫酸ナトリウム 超高純度	該当なし

## IGCコードに基づくバルク輸送

製品名	船舶の種類
ドデシル硫酸ナトリウム 超純	未提供

## セクション 15 適用法令

## 単一物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規制/法令

## 国家インベントリ状況

国家インベントリ	ステータス
オーストラリア - AIC / オーストラリア 非工業使用	はい
カナダ - DSL	はい
カナダ - NDSL	いいえ (ドデシル硫酸ナトリウム超高純度)
中国 - IECSC	はい
ヨーロッパ - EINEC / ELINCS / NLP	はい
日本 - 化審法官報公示番号	はい
韓国 - KECI	はい
ニュージーランド - NZIoC	はい
フィリピン - PICCS	はい
アメリカ - TSCA	はい
台湾 - TCSI	はい
メキシコ - INSQ	はい
ベトナム - NCI	はい
ロシア - FBEPH	はい
<b>凡例:</b>	はい = CAS登録済みの全成分がインベントリに記載されている いいえ = CAS登録成分のうち1つ以上が在庫リストに記載されていません。これらの成分は免除対象となるか、登録が必要となる可能性があります 登録が必要となる場合があります。

## 第16条 その他の情報

改訂日	2023年8月6日
初回日付	2023年8月6日

## SDS バージョン概要

バージョン	日付 更新	更新項目
0.2	2023年8月6日	有害性情報 - 急性健康影響 (眼)、物理的及び化学的性質 - 性状、CAS番号、 危険有害性の要約 - 分類、ばく露防止及び保護措置 - 暴露基準、成分情報 / 成分情報 - 成分、ばく露防止及び保護措置 - 個人用保護具 (眼)、 単一物質 / 混合物及び会社 / 事業者の識別 - 供給者情報、単一物質 / 混合物及び会社 / 事業者の識別 単一物質 / 混合物および会社 / 事業者の識別 - 別名

## その他の情報

本調剤及びその個々の成分の分類は、公的かつ権威ある情報源に加え、Chemwatch分類委員会による入手可能な文献参照を用いた独立した審査に基づいています。

分類委員会による利用可能な文献参照の使用による独立した審査に基づいています。

安全データシート (SDS) は危険有害性情報伝達ツールであり、リスク評価を支援するために使用すべきである。報告された危険有害性が職場その他の環境においてリスクとなるか否かは、多くの要因によって決定される。リスクは暴露シナリオを参照して特定される場合がある。使用規模、使用頻度、および現在または利用可能な暴露レベルがリスク評価の基礎となる。

職場やその他の環境において危険性がリスクとなるか否かは、曝露シナリオを参照して判断される場合があります。使用規模、使用頻度、および現行または利用可能な設備対策が考慮されなければならない。

保護具に関する詳細な助言については、以下のEU CEN規格を参照のこと:

EN 166 個人用眼保護具

EN 340 防護服

EN 374 化学物質及び微生物に対する防護手袋

EN 13832 化学物質に対する保護靴

EN 133 呼吸用保護具

## 定義と略語

PC - TWA: 許容濃度 - 時間加重平均

PC - STEL: 許容濃度 - 短時間ばく露限界

IARC: 国際がん研究機関

ACGIH: 米国産業衛生専門家会議

STEL: 短時間ばく露限界

TEEL: 一時的緊急ばく露限界

IDLH: 生命または健康に直ちに危険な濃度

## ドデシル硫酸ナトリウム 超純品

ES: 暴露基準  
OSF: 臭い安全係数  
NOAEL: 無有害影響量  
LOAEL: 最低有害影響量  
TLV: 許容濃度  
LOD: 検出限界  
OTV: 臭い閾値  
BCF: 生物濃縮係数  
BEI: 生物学的暴露指数  
AIC: オーストラリア工業化学物質インベントリ  
DSL: 国内単一物質リスト  
NDSL: 非国内単一物質リスト  
IECSC: 中国既存単一物質インベントリ  
EINECS: 欧州既存商業単一物質目録  
ELINCS: 欧州届出化学物質リスト  
NLP: 非重合体  
化審法官報公示番号: 既存及び新規化学物質インベントリ  
KECI: 韓国既存化学物質インベントリ  
NZIoC: ニュージーランド化学物質インベントリ  
PICCS: フィリピン化学物質インベントリ 単一物質  
TSCA: 有害物質規制法  
TCSI: 台湾化学物質インベントリ  
INSQ: Inventario Nacional de Sustancias Químicas  
NCI: National Chemical Inventory  
FBEPH: ロシア潜在危険化学物質・生物物質登録簿

## 混合物の分類を導出するための分類及び手順（規則（EC）1272/2008 [CLP] に基づく）

分類規則に基づく分類 規則（EC）No 1272/2008 [CLP] および 改正	分類手順
急性毒性（経皮） 区分3、H311	専門家の判断
急性毒性（経口） 区分4、H302	専門家の判断
皮膚腐食性／刺激性 区分2、H315	専門家の判断
眼の損傷・眼の 区分2、H319	専門家の判断
可燃性固体カテゴリー 1、H228	専門家の判断

Chemwatch提供のAuthoriTeにより提供されています。



# Sodium dodecyl sulphate Ultrapure

## Apollo Scientific

Chemwatch Hazard Alert Code: 3

Part Number: **BIB2008**

Version No: 1.2

Safety Data Sheet

Issue Date: **08/06/2023**

Print Date: **08/06/2023**

S.GHS.GB-NIR.EN

### SECTION 1 Identification of the substance / mixture and of the company / undertaking

#### Product Identifier

Product name	Sodium dodecyl sulphate Ultrapure
Chemical Name	sodium lauryl sulfate
Synonyms	Not Available
Proper shipping name	FLAMMABLE SOLID, TOXIC, ORGANIC, N.O.S.
Chemical formula	C12H26O4S.Na
Other means of identification	Not Available
CAS number	151-21-3*

#### Relevant identified uses of the substance or mixture and uses advised against

Relevant identified uses	Not Available
--------------------------	---------------

#### Details of the manufacturer or supplier of the safety data sheet

Registered company name	Apollo Scientific	Apollo Scientific Ltd
Address	Whitefield Road, Bredbury SK62QR United Kingdom	Whitefield Road Not Available SK6 2QR United Kingdom (NI)
Telephone	01614060505	+44(0) 161 406 0505
Fax	0161 406 0506	Not Available
Website	<a href="http://www.apolloscientific.co.uk/">http://www.apolloscientific.co.uk/</a>	<a href="http://apolloscientific.co.uk">apolloscientific.co.uk</a>
Email	sales@apolloscientific.co.uk	sales@apolloscientific.co.uk

#### Emergency telephone number

Association / Organisation	Not Available
Emergency telephone numbers	Not Available
Other emergency telephone numbers	Not Available

### SECTION 2 Hazards identification

#### Classification of the substance or mixture

Classification according to regulation (EC) No 1272/2008 [CLP] and amendments [1]	H311 - Acute Toxicity (Dermal) Category 3, H302 - Acute Toxicity (Oral) Category 4, H315 - Skin Corrosion/Irritation Category 2, H319 - Serious Eye Damage/Eye Irritation Category 2, H228 - Flammable Solids Category 1
---	--

**Sodium dodecyl sulphate Ultrapure**

**Legend:** 1. Classified by Chemwatch; 2. Classification drawn from Regulation (EU) No 1272/2008 - Annex VI

**Label elements**

Hazard pictogram(s)	
Signal word	<b>Danger</b>

**Hazard statement(s)**

<b>H311</b>	Toxic in contact with skin.
<b>H302</b>	Harmful if swallowed.
<b>H315</b>	Causes skin irritation.
<b>H319</b>	Causes serious eye irritation.
<b>H228</b>	Flammable solid.

**Precautionary statement(s) Prevention**

<b>P210</b>	Keep away from heat, hot surfaces, sparks, open flames and other ignition sources. No smoking.
<b>P280</b>	Wear protective gloves, protective clothing, eye protection and face protection.
<b>P240</b>	Ground and bond container and receiving equipment.
<b>P241</b>	Use explosion-proof electrical/ventilating/lighting/intrinsically safe equipment.
<b>P264</b>	Wash all exposed external body areas thoroughly after handling.
<b>P270</b>	Do not eat, drink or smoke when using this product.

**Precautionary statement(s) Response**

<b>P370+P378</b>	In case of fire: Use alcohol resistant foam or normal protein foam to extinguish.
<b>P302+P352</b>	IF ON SKIN: Wash with plenty of water.
<b>P305+P351+P338</b>	IF IN EYES: Rinse cautiously with water for several minutes. Remove contact lenses, if present and easy to do. Continue rinsing.
<b>P337+P313</b>	If eye irritation persists: Get medical advice/attention.
<b>P361+P364</b>	Take off immediately all contaminated clothing and wash it before reuse.
<b>P301+P312</b>	IF SWALLOWED: Call a POISON CENTER/doctor/physician/first aider if you feel unwell.
<b>P330</b>	Rinse mouth.
<b>P332+P313</b>	If skin irritation occurs: Get medical advice/attention.

**Precautionary statement(s) Storage**

<b>P405</b>	Store locked up.
-------------	------------------

**Precautionary statement(s) Disposal**

<b>P501</b>	Dispose of contents/container to authorised hazardous or special waste collection point in accordance with any local regulation.
-------------	--

**SECTION 3 Composition / information on ingredients**

**Substances**

CAS No	%[weight]	Name	Classification according to regulation (EC) No 1272/2008 [CLP] and amendments	SCL / M-Factor
Not Available	100	<u>Sodium dodecyl sulphate</u> <u>Ultrapure</u>	Acute Toxicity (Dermal) Category 3, Acute Toxicity (Oral) Category 4, Skin Corrosion/Irritation Category 2, Serious Eye Damage/Eye Irritation Category 2, Flammable Solids Category 1; H311, H302, H315, H319, H228 <sup>[1]</sup>	Not Available

**Legend:** 1. Classified by Chemwatch; 2. Classification drawn from Regulation (EU) No 1272/2008 - Annex VI; 3. Classification drawn from C&L; \* EU IOELVs available; [e] Substance identified as having endocrine disrupting properties

**Mixtures**

See section above for composition of Substances

## Sodium dodecyl sulphate Ultrapure

### SECTION 4 First aid measures

#### Description of first aid measures

<b>Eye Contact</b>	<p>If this product comes in contact with the eyes:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ Wash out immediately with fresh running water.</li><li>▶ Ensure complete irrigation of the eye by keeping eyelids apart and away from eye and moving the eyelids by occasionally lifting the upper and lower lids.</li><li>▶ Seek medical attention without delay; if pain persists or recurs seek medical attention.</li><li>▶ Removal of contact lenses after an eye injury should only be undertaken by skilled personnel.</li></ul>
<b>Skin Contact</b>	<p>If skin or hair contact occurs:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ Flush skin and hair with running water (and soap if available).</li><li>▶ Seek medical attention in event of irritation.</li></ul>
<b>Inhalation</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ If fumes or combustion products are inhaled remove from contaminated area.</li><li>▶ Lay patient down. Keep warm and rested.</li><li>▶ Prostheses such as false teeth, which may block airway, should be removed, where possible, prior to initiating first aid procedures.</li><li>▶ Apply artificial respiration if not breathing, preferably with a demand valve resuscitator, bag-valve mask device, or pocket mask as trained. Perform CPR if necessary.</li><li>▶ Transport to hospital, or doctor.</li></ul>
<b>Ingestion</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ <b>If swallowed do NOT induce vomiting.</b></li><li>▶ If vomiting occurs, lean patient forward or place on left side (head-down position, if possible) to maintain open airway and prevent aspiration.</li><li>▶ Observe the patient carefully.</li><li>▶ Never give liquid to a person showing signs of being sleepy or with reduced awareness; i.e. becoming unconscious.</li><li>▶ Give water to rinse out mouth, then provide liquid slowly and as much as casualty can comfortably drink.</li><li>▶ Seek medical advice.</li></ul>

#### Indication of any immediate medical attention and special treatment needed

As in all cases of suspected poisoning, follow the ABCDEs of emergency medicine (airway, breathing, circulation, disability, exposure), then the ABCDEs of toxicology (antidotes, basics, change absorption, change distribution, change elimination).

For poisons (where specific treatment regime is absent):

##### BASIC TREATMENT

- ▶ Establish a patent airway with suction where necessary.
- ▶ Watch for signs of respiratory insufficiency and assist ventilation as necessary.
- ▶ Administer oxygen by non-rebreather mask at 10 to 15 L/min.
- ▶ Monitor and treat, where necessary, for pulmonary oedema.
- ▶ Monitor and treat, where necessary, for shock.
- ▶ Anticipate seizures.
- ▶ **DO NOT** use emetics. Where ingestion is suspected rinse mouth and give up to 200 ml water (5 ml/kg recommended) for dilution where patient is able to swallow, has a strong gag reflex and does not drool.

##### ADVANCED TREATMENT

- ▶ Consider orotracheal or nasotracheal intubation for airway control in unconscious patient or where respiratory arrest has occurred.
- ▶ Positive-pressure ventilation using a bag-valve mask might be of use.
- ▶ Monitor and treat, where necessary, for arrhythmias.
- ▶ Start an IV D5W TKO. If signs of hypovolaemia are present use lactated Ringers solution. Fluid overload might create complications.
- ▶ Drug therapy should be considered for pulmonary oedema.
- ▶ Hypotension with signs of hypovolaemia requires the cautious administration of fluids. Fluid overload might create complications.
- ▶ Treat seizures with diazepam.
- ▶ Proparacaine hydrochloride should be used to assist eye irrigation.

BRONSTEIN, A.C. and CURRANCE, P.L.

EMERGENCY CARE FOR HAZARDOUS MATERIALS EXPOSURE: 2nd Ed. 1994

### SECTION 5 Firefighting measures

#### Extinguishing media

For **SMALL FIRES**:

Dry chemical, CO<sub>2</sub>, water spray or foam.

For **LARGE FIRES**:

Water-spray, fog or foam.

#### Special hazards arising from the substrate or mixture

**Sodium dodecyl sulphate Ultrapure**

<b>Fire Incompatibility</b>	None known.
-----------------------------	-------------

**Advice for firefighters**

<b>Fire Fighting</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Alert Fire Brigade and tell them location and nature of hazard.</li> <li>▶ Wear full body protective clothing with breathing apparatus.</li> <li>▶ Prevent, by any means available, spillage from entering drains or water course.</li> <li>▶ Fight fire from a safe distance, with adequate cover.</li> <li>▶ If safe, switch off electrical equipment until vapour fire hazard removed.</li> <li>▶ Use water delivered as a fine spray to control fire and cool adjacent area.</li> <li>▶ Avoid spraying water onto liquid pools.</li> <li>▶ <b>DO NOT</b> approach containers suspected to be hot.</li> <li>▶ Cool fire exposed containers with water spray from a protected location.</li> <li>▶ If safe to do so, remove containers from path of fire.</li> </ul>
<b>Fire/Explosion Hazard</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Flammable solid which burns and propagates flame easily, even when partly wetted with water.</li> <li>▶ Any source of ignition, i.e. friction, heat, sparks or flame, may cause fire or explosion.</li> <li>▶ May burn fiercely</li> <li>▶ May form explosive mixtures with air.</li> <li>▶ May <b>REIGNITE</b> after fire is extinguished.</li> <li>▶ Containers may explode on heating.</li> <li>▶ Solids may melt and flow when heated or involved in a fire.</li> <li>▶ Runoff may pollute waterways.</li> <li>▶ Avoid generating dust, particularly clouds of dust in a confined or unventilated space as dusts may form an explosive mixture with air. Dust clouds generated by the fine grinding of the solid are a particular hazard; accumulations of fine dust may burn rapidly and fiercely if ignited.</li> <li>▶ Dry dust can be charged electrostatically by turbulence, pneumatic transport, pouring, in exhaust ducts and during transport, thereby providing a source of ignition.</li> <li>▶ Decomposition products may be irritating, poisonous or corrosive.</li> </ul>

**SECTION 6 Accidental release measures****Personal precautions, protective equipment and emergency procedures**

See section 8

**Environmental precautions**

See section 12

**Methods and material for containment and cleaning up**

<b>Minor Spills</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Remove all ignition sources.</li> <li>▶ <b>DO NOT touch or walk through spilled material.</b></li> <li>▶ Clean up all spills immediately.</li> <li>▶ Avoid contact with skin and eyes.</li> <li>▶ Prevent dust cloud.</li> <li>▶ With clean shovel (preferably non-sparking) place material into clean, dry container and cover loosely.</li> <li>▶ Move containers from spill area.</li> <li>▶ Control personal contact with the substance, by using protective equipment.</li> </ul>
<b>Major Spills</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Clear area of personnel and move upwind.</li> <li>▶ Alert Fire Brigade and tell them location and nature of hazard.</li> <li>▶ <b>DO NOT touch or walk through spilled material.</b></li> <li>▶ Wear full protective clothing and breathing apparatus.</li> <li>▶ Prevent, by any means available, spillage from entering drains or water course.</li> <li>▶ No smoking, naked lights or ignition sources.</li> <li>▶ Increase ventilation.</li> <li>▶ Stop leak if safe to do so.</li> <li>▶ Contain or cover with sand, earth or vermiculite.</li> <li>▶ Use only spark-free shovels and explosion proof equipment.</li> <li>▶ Collect recoverable product into labelled containers for recycling.</li> <li>▶ Collect solid residues and seal in labelled drums for disposal.</li> <li>▶ Wash area with water and dike for later disposal; prevent runoff into drains.</li> <li>▶ After clean up operations, decontaminate and launder all protective clothing and equipment before storing and re-using.</li> <li>▶ If contamination of drains or waterways occurs, advise emergency services.</li> </ul>

Personal Protective Equipment advice is contained in Section 8 of the SDS.

**Sodium dodecyl sulphate Ultrapure**

**SECTION 7 Handling and storage**

**Precautions for safe handling**

<b>Safe handling</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Avoid all personal contact, including inhalation.</li> <li>▶ Wear protective clothing when risk of overexposure occurs.</li> <li>▶ Use in a well-ventilated area.</li> <li>▶ Prevent concentration in hollows and sumps.</li> <li>▶ <b>DO NOT enter confined spaces until atmosphere has been checked.</b></li> <li>▶ <b>DO NOT allow material to contact humans, exposed food or food utensils.</b></li> <li>▶ Avoid smoking, naked lights or ignition sources.</li> <li>▶ <b>When handling, DO NOT eat, drink or smoke.</b></li> <li>▶ Avoid contact with incompatible materials.</li> <li>▶ Keep containers securely sealed when not in use.</li> <li>▶ Avoid physical damage to containers.</li> <li>▶ Always wash hands with soap and water after handling.</li> <li>▶ Working clothes should be laundered separately. Launder contaminated clothing before re-use.</li> <li>▶ Use good occupational work practice.</li> <li>▶ Observe manufacturer's storage and handling recommendations contained within this SDS.</li> <li>▶ Atmosphere should be regularly checked against established exposure standards to ensure safe working conditions are maintained.</li> </ul>
<b>Other information</b>	<p><b>FOR MINOR QUANTITIES:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Store in an indoor fireproof cabinet or in a room of noncombustible construction.</li> <li>▶ Provide adequate portable fire-extinguishers in or near the storage area.</li> </ul> <p><b>FOR PACKAGE STORAGE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Store in original containers in approved flame-proof area.</li> <li>▶ No smoking, naked lights, heat or ignition sources.</li> <li>▶ <b>DO NOT store in pits, depressions, basements or areas where vapours may be trapped.</b></li> <li>▶ Keep containers securely sealed.</li> <li>▶ Store away from incompatible materials in a cool, dry, well ventilated area.</li> <li>▶ Protect containers against physical damage and check regularly for leaks.</li> <li>▶ Protect containers from exposure to weather and from direct sunlight unless: (a) the packages are of metal or plastic construction; (b) the packages are securely closed are not opened for any purpose while in the area where they are stored and (c) adequate precautions are taken to ensure that rain water, which might become contaminated by the dangerous goods, is collected and disposed of safely.</li> <li>▶ Ensure proper stock-control measures are maintained to prevent prolonged storage of dangerous goods.</li> <li>▶ Observe manufacturer's storage and handling recommendations contained within this SDS.</li> </ul>

**Conditions for safe storage, including any incompatibilities**

<b>Suitable container</b>	<p>For low viscosity materials and solids: Drums and jerricans must be of the non-removable head type. Where a can is to be used as an inner package, the can must have a screwed enclosure.</p> <p>For materials with a viscosity of at least 2680 cSt. (23 deg. C):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Removable head packaging and</li> <li>▶ cans with friction closures may be used.</li> </ul> <p>-</p> <p>Where combination packages are used, there must be sufficient inert absorbent material to absorb completely any leakage that may occur, unless the outer packaging is a close fitting moulded plastic box and the substances are not incompatible with the plastic.</p> <p>All combination packages for Packing group I and II must contain cushioning material.</p>
<b>Storage incompatibility</b>	<p>None known</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Hygroscopic</li> </ul>

**SECTION 8 Exposure controls / personal protection**

**Control parameters**

**Occupational Exposure Limits (OEL)**

**INGREDIENT DATA**

Not Available

**Emergency Limits**

Ingredient	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3
Sodium dodecyl sulphate Ultrapure	Not Available	Not Available	Not Available

**Sodium dodecyl sulphate Ultrapure**

Ingredient	Original IDLH	Revised IDLH
Sodium dodecyl sulphate Ultrapure	Not Available	Not Available

**Exposure controls**

<p><b>Appropriate engineering controls</b></p>	<p>Engineering controls are used to remove a hazard or place a barrier between the worker and the hazard. Well-designed engineering controls can be highly effective in protecting workers and will typically be independent of worker interactions to provide this high level of protection.</p> <p>The basic types of engineering controls are:</p> <p>Process controls which involve changing the way a job activity or process is done to reduce the risk.</p> <p>Enclosure and/or isolation of emission source which keeps a selected hazard "physically" away from the worker and ventilation that strategically "adds" and "removes" air in the work environment. Ventilation can remove or dilute an air contaminant if designed properly. The design of a ventilation system must match the particular process and chemical or contaminant in use. Employers may need to use multiple types of controls to prevent employee overexposure.</p> <p>Local exhaust ventilation usually required. If risk of overexposure exists, wear approved respirator. Correct fit is essential to obtain adequate protection. Supplied-air type respirator may be required in special circumstances. Correct fit is essential to ensure adequate protection.</p> <p>An approved self contained breathing apparatus (SCBA) may be required in some situations.</p> <p>Provide adequate ventilation in warehouse or closed storage area. Air contaminants generated in the workplace possess varying "escape" velocities which, in turn, determine the "capture velocities" of fresh circulating air required to effectively remove the contaminant.</p> <table border="1" data-bbox="384 857 1485 1155"> <thead> <tr> <th>Type of Contaminant:</th> <th>Air Speed:</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>solvent, vapours, degreasing etc., evaporating from tank (in still air).</td> <td>0.25-0.5 m/s (50-100 f/min.)</td> </tr> <tr> <td>aerosols, fumes from pouring operations, intermittent container filling, low speed conveyer transfers, welding, spray drift, plating acid fumes, pickling (released at low velocity into zone of active generation)</td> <td>0.5-1 m/s (100-200 f/min.)</td> </tr> <tr> <td>direct spray, spray painting in shallow booths, drum filling, conveyer loading, crusher dusts, gas discharge (active generation into zone of rapid air motion)</td> <td>1-2.5 m/s (200-500 f/min.)</td> </tr> <tr> <td>grinding, abrasive blasting, tumbling, high speed wheel generated dusts (released at high initial velocity into zone of very high rapid air motion).</td> <td>2.5-10 m/s (500-2000 f/min.)</td> </tr> </tbody> </table> <p>Within each range the appropriate value depends on:</p> <table border="1" data-bbox="384 1216 1171 1406"> <thead> <tr> <th>Lower end of the range</th> <th>Upper end of the range</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1: Room air currents minimal or favourable to capture</td> <td>1: Disturbing room air currents</td> </tr> <tr> <td>2: Contaminants of low toxicity or of nuisance value only.</td> <td>2: Contaminants of high toxicity</td> </tr> <tr> <td>3: Intermittent, low production.</td> <td>3: High production, heavy use</td> </tr> <tr> <td>4: Large hood or large air mass in motion</td> <td>4: Small hood-local control only</td> </tr> </tbody> </table> <p>Simple theory shows that air velocity falls rapidly with distance away from the opening of a simple extraction pipe. Velocity generally decreases with the square of distance from the extraction point (in simple cases). Therefore the air speed at the extraction point should be adjusted, accordingly, after reference to distance from the contaminating source. The air velocity at the extraction fan, for example, should be a minimum of 1-2 m/s (200-400 f/min) for extraction of solvents generated in a tank 2 meters distant from the extraction point. Other mechanical considerations, producing performance deficits within the extraction apparatus, make it essential that theoretical air velocities are multiplied by factors of 10 or more when extraction systems are installed or used.</p> <p>For large scale or continuous use:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Spark-free, earthed ventilation system, venting directly to the outside and separate from usual ventilation systems</li> <li>▶ Provide dust collectors with explosion vents</li> </ul>	Type of Contaminant:	Air Speed:	solvent, vapours, degreasing etc., evaporating from tank (in still air).	0.25-0.5 m/s (50-100 f/min.)	aerosols, fumes from pouring operations, intermittent container filling, low speed conveyer transfers, welding, spray drift, plating acid fumes, pickling (released at low velocity into zone of active generation)	0.5-1 m/s (100-200 f/min.)	direct spray, spray painting in shallow booths, drum filling, conveyer loading, crusher dusts, gas discharge (active generation into zone of rapid air motion)	1-2.5 m/s (200-500 f/min.)	grinding, abrasive blasting, tumbling, high speed wheel generated dusts (released at high initial velocity into zone of very high rapid air motion).	2.5-10 m/s (500-2000 f/min.)	Lower end of the range	Upper end of the range	1: Room air currents minimal or favourable to capture	1: Disturbing room air currents	2: Contaminants of low toxicity or of nuisance value only.	2: Contaminants of high toxicity	3: Intermittent, low production.	3: High production, heavy use	4: Large hood or large air mass in motion	4: Small hood-local control only
Type of Contaminant:	Air Speed:																				
solvent, vapours, degreasing etc., evaporating from tank (in still air).	0.25-0.5 m/s (50-100 f/min.)																				
aerosols, fumes from pouring operations, intermittent container filling, low speed conveyer transfers, welding, spray drift, plating acid fumes, pickling (released at low velocity into zone of active generation)	0.5-1 m/s (100-200 f/min.)																				
direct spray, spray painting in shallow booths, drum filling, conveyer loading, crusher dusts, gas discharge (active generation into zone of rapid air motion)	1-2.5 m/s (200-500 f/min.)																				
grinding, abrasive blasting, tumbling, high speed wheel generated dusts (released at high initial velocity into zone of very high rapid air motion).	2.5-10 m/s (500-2000 f/min.)																				
Lower end of the range	Upper end of the range																				
1: Room air currents minimal or favourable to capture	1: Disturbing room air currents																				
2: Contaminants of low toxicity or of nuisance value only.	2: Contaminants of high toxicity																				
3: Intermittent, low production.	3: High production, heavy use																				
4: Large hood or large air mass in motion	4: Small hood-local control only																				
<p><b>Individual protection measures, such as personal protective equipment</b></p>																					
<p><b>Eye and face protection</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Safety glasses with side shields.</li> <li>▶ Chemical goggles.</li> <li>▶ Contact lenses may pose a special hazard; soft contact lenses may absorb and concentrate irritants. A written policy document, describing the wearing of lenses or restrictions on use, should be created for each workplace or task. This should include a review of lens absorption and adsorption for the class of chemicals in use and an account of injury experience. Medical and first-aid personnel should be trained in their removal and suitable equipment should be readily available. In the event of chemical exposure, begin eye irrigation immediately and remove contact lens as soon as practicable. Lens should be removed at the first signs of eye redness or irritation - lens should be removed in a clean environment only after workers have washed hands thoroughly. [CDC NIOSH Current Intelligence Bulletin 59], [AS/NZS 1336 or national equivalent]</li> </ul>																				
<p><b>Skin protection</b></p>	<p>See Hand protection below</p>																				

**Sodium dodecyl sulphate Ultrapure**

<b>Hands/feet protection</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▸ Wear physical protective gloves, e.g. leather.</li> <li>▸ Wear safety footwear.</li> </ul>
<b>Body protection</b>	See Other protection below
<b>Other protection</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▸ Overalls.</li> <li>▸ Eyewash unit.</li> <li>▸ Barrier cream.</li> <li>▸ Skin cleansing cream.</li> <li>▸ Some plastic personal protective equipment (PPE) (e.g. gloves, aprons, overshoes) are not recommended as they may produce static electricity.</li> <li>▸ For large scale or continuous use wear tight-weave non-static clothing (no metallic fasteners, cuffs or pockets).</li> <li>▸ Non sparking safety or conductive footwear should be considered. Conductive footwear describes a boot or shoe with a sole made from a conductive compound chemically bound to the bottom components, for permanent control to electrically ground the foot and shall dissipate static electricity from the body to reduce the possibility of ignition of volatile compounds. Electrical resistance must range between 0 to 500,000 ohms. Conductive shoes should be stored in lockers close to the room in which they are worn. Personnel who have been issued conductive footwear should not wear them from their place of work to their homes and return.</li> </ul>

**Respiratory protection**

Type -P Filter of sufficient capacity. (AS/NZS 1716 & 1715, EN 143:2000 & 149:2001, ANSI Z88 or national equivalent)

Required Minimum Protection Factor	Half-Face Respirator	Full-Face Respirator	Powered Air Respirator
up to 10 x ES	P1 Air-line*	- -	PAPR-P1 -
up to 50 x ES	Air-line**	P2	PAPR-P2
up to 100 x ES	-	P3	-
		Air-line*	-
100+ x ES	-	Air-line**	PAPR-P3

\* - Negative pressure demand \*\* - Continuous flow

A(All classes) = Organic vapours, B AUS or B1 = Acid gasses, B2 = Acid gas or hydrogen cyanide(HCN), B3 = Acid gas or hydrogen cyanide(HCN), E = Sulfur dioxide(SO2), G = Agricultural chemicals, K = Ammonia(NH3), Hg = Mercury, NO = Oxides of nitrogen, MB = Methyl bromide, AX = Low boiling point organic compounds(below 65 degC)

**SECTION 9 Physical and chemical properties**

**Information on basic physical and chemical properties**

<b>Appearance</b>	Not Available		
<b>Physical state</b>	Solid	<b>Relative density (Water = 1)</b>	0.37
<b>Odour</b>	Not Available	<b>Partition coefficient n-octanol / water</b>	Not Available
<b>Odour threshold</b>	Not Available	<b>Auto-ignition temperature (°C)</b>	Not Available
<b>pH (as supplied)</b>	Not Available	<b>Decomposition temperature (°C)</b>	Not Available
<b>Melting point / freezing point (°C)</b>	204-207	<b>Viscosity (cSt)</b>	Not Available
<b>Initial boiling point and boiling range (°C)</b>	Not Available	<b>Molecular weight (g/mol)</b>	Not Available
<b>Flash point (°C)</b>	Not Available	<b>Taste</b>	Not Available
<b>Evaporation rate</b>	Not Available	<b>Explosive properties</b>	Not Available
<b>Flammability</b>	Not Available	<b>Oxidising properties</b>	Not Available
<b>Upper Explosive Limit (%)</b>	Not Available	<b>Surface Tension (dyn/cm or mN/m)</b>	Not Applicable
<b>Lower Explosive Limit (%)</b>	Not Available	<b>Volatile Component (%vol)</b>	Not Available
<b>Vapour pressure (kPa)</b>	Not Available	<b>Gas group</b>	Not Available

**Sodium dodecyl sulphate Ultrapure**

<b>Solubility in water</b>	Not Available	<b>pH as a solution (1%)</b>	Not Available
<b>Vapour density (Air = 1)</b>	Not Available	<b>VOC g/L</b>	Not Available

**SECTION 10 Stability and reactivity**

<b>Reactivity</b>	See section 7
<b>Chemical stability</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Unstable in the presence of incompatible materials.</li> <li>▶ Product is considered stable.</li> <li>▶ Hazardous polymerisation will not occur.</li> </ul>
<b>Possibility of hazardous reactions</b>	See section 7
<b>Conditions to avoid</b>	See section 7
<b>Incompatible materials</b>	See section 7
<b>Hazardous decomposition products</b>	See section 5

**SECTION 11 Toxicological information**

**Information on toxicological effects**

<b>Inhaled</b>	The material is not thought to produce respiratory irritation (as classified by EC Directives using animal models). Nevertheless inhalation of dusts, or fumes, especially for prolonged periods, may produce respiratory discomfort and occasionally, distress. Inhalation of dusts, generated by the material during the course of normal handling, may be damaging to the health of the individual.
<b>Ingestion</b>	Accidental ingestion of the material may be damaging to the health of the individual.
<b>Skin Contact</b>	The material is not thought to produce adverse health effects or skin irritation following contact (as classified by EC Directives using animal models). Nevertheless, good hygiene practice requires that exposure be kept to a minimum and that suitable gloves be used in an occupational setting. Open cuts, abraded or irritated skin should not be exposed to this material Entry into the blood-stream, through, for example, cuts, abrasions or lesions, may produce systemic injury with harmful effects. Examine the skin prior to the use of the material and ensure that any external damage is suitably protected.
<b>Eye</b>	This material can cause eye irritation and damage in some persons.
<b>Chronic</b>	Long-term exposure to the product is not thought to produce chronic effects adverse to the health (as classified by EC Directives using animal models); nevertheless exposure by all routes should be minimised as a matter of course.

**Legend:** 1. Value obtained from Europe ECHA Registered Substances - Acute toxicity 2. Value obtained from manufacturer's SDS. Unless otherwise specified data extracted from RTECS - Register of Toxic Effect of chemical Substances

<b>Acute Toxicity</b>	✓	<b>Carcinogenicity</b>	✗
<b>Skin Irritation/Corrosion</b>	✓	<b>Reproductivity</b>	✗
<b>Serious Eye Damage/Irritation</b>	✓	<b>STOT - Single Exposure</b>	✗
<b>Respiratory or Skin sensitisation</b>	✗	<b>STOT - Repeated Exposure</b>	✗
<b>Mutagenicity</b>	✗	<b>Aspiration Hazard</b>	✗

**Legend:** ✗ – Data either not available or does not fill the criteria for classification  
✓ – Data available to make classification

**SECTION 12 Ecological information**

**Toxicity**

**Legend:** Extracted from 1. IUCLID Toxicity Data 2. Europe ECHA Registered Substances - Ecotoxicological Information - Aquatic Toxicity 4. US EPA, Ecotox database - Aquatic Toxicity Data 5. ECETOC Aquatic Hazard Assessment Data 6. NITE (Japan) -

**Sodium dodecyl sulphate Ultrapure**

Bioconcentration Data 7. METI (Japan) - Bioconcentration Data 8. Vendor Data

**DO NOT** discharge into sewer or waterways.

**Persistence and degradability**

Ingredient	Persistence: Water/Soil	Persistence: Air
	No Data available for all ingredients	No Data available for all ingredients

**Bioaccumulative potential**

Ingredient	Bioaccumulation
	No Data available for all ingredients

**Mobility in soil**

Ingredient	Mobility
	No Data available for all ingredients

**SECTION 13 Disposal considerations**

**Waste treatment methods**

Product / Packaging disposal	Waste treatment methods
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▸ Recycle wherever possible.</li> <li>▸ Consult manufacturer for recycling options or consult local or regional waste management authority for disposal if no suitable treatment or disposal facility can be identified.</li> <li>▸ Dispose of by: burial in a land-fill specifically licensed to accept chemical and / or pharmaceutical wastes or Incineration in a licensed apparatus (after admixture with suitable combustible material)</li> <li>▸ Decontaminate empty containers. Observe all label safeguards until containers are cleaned and destroyed.</li> </ul>

**SECTION 14 Transport information**

**Labels Required**

	 
Marine Pollutant	NO

**Land transport (ADR-RID)**

UN number or ID number	2926	
UN proper shipping name	FLAMMABLE SOLID, TOXIC, ORGANIC, N.O.S.	
Transport hazard class(es)	Class	4.1
	Subsidiary risk	6.1
Packing group	II	
Environmental hazard	Not Applicable	
Special precautions for user	Hazard identification (Kemler)	46
	Classification code	FT1
	Hazard Label	4.1 +6.1
	Special provisions	274
	Limited quantity	1 kg
	Tunnel Restriction Code	2 (E)

**Air transport (ICAO-IATA / DGR)**

UN number	2926
UN proper shipping name	Flammable solid, toxic, organic, n.o.s. *

**Sodium dodecyl sulphate Ultrapure**

<b>Transport hazard class(es)</b>	ICAO/IATA Class	4.1
	ICAO / IATA Subrisk	6.1
	ERG Code	3P
<b>Packing group</b>	II	
<b>Environmental hazard</b>	Not Applicable	
<b>Special precautions for user</b>	Special provisions	A3 A803
	Cargo Only Packing Instructions	448
	Cargo Only Maximum Qty / Pack	50 kg
	Passenger and Cargo Packing Instructions	445
	Passenger and Cargo Maximum Qty / Pack	15 kg
	Passenger and Cargo Limited Quantity Packing Instructions	Y440
	Passenger and Cargo Limited Maximum Qty / Pack	1 kg

**Sea transport (IMDG-Code / GGVSee)**

<b>UN number</b>	2926	
<b>UN proper shipping name</b>	FLAMMABLE SOLID, TOXIC, ORGANIC, N.O.S.	
<b>Transport hazard class(es)</b>	IMDG Class	4.1
	IMDG Subrisk	6.1
<b>Packing group</b>	II	
<b>Environmental hazard</b>	Not Applicable	
<b>Special precautions for user</b>	EMS Number	F-A, S-G
	Special provisions	274
	Limited Quantities	1 kg

**Inland waterways transport (ADN)**

<b>UN number</b>	2926	
<b>UN proper shipping name</b>	FLAMMABLE SOLID, TOXIC, ORGANIC, N.O.S.	
<b>Transport hazard class(es)</b>	4.1	6.1
<b>Packing group</b>	II	
<b>Environmental hazard</b>	Not Applicable	
<b>Special precautions for user</b>	Classification code	FT1
	Special provisions	274; 802
	Limited quantity	1 kg
	Equipment required	PP, EP
	Fire cones number	2

**Transport in bulk according to Annex II of MARPOL and the IBC code**

Not Applicable

**Transport in bulk in accordance with MARPOL Annex V and the IMSBC Code**

Product name	Group
Sodium dodecyl sulphate Ultrapure	Not Available

**Transport in bulk in accordance with the IGC Code**

Product name	Ship Type
Sodium dodecyl sulphate Ultrapure	Not Available

**Sodium dodecyl sulphate Ultrapure****SECTION 15 Regulatory information****Safety, health and environmental regulations / legislation specific for the substance or mixture****National Inventory Status**

National Inventory	Status
Australia - AIIIC / Australia Non-Industrial Use	Yes
Canada - DSL	Yes
Canada - NDSL	No (Sodium dodecyl sulphate Ultrapure)
China - IECSC	Yes
Europe - EINEC / ELINCS / NLP	Yes
Japan - ENCS	Yes
Korea - KECI	Yes
New Zealand - NZIoC	Yes
Philippines - PICCS	Yes
USA - TSCA	Yes
Taiwan - TCSI	Yes
Mexico - INSQ	Yes
Vietnam - NCI	Yes
Russia - FBEPH	Yes
<b>Legend:</b>	<i>Yes = All CAS declared ingredients are on the inventory No = One or more of the CAS listed ingredients are not on the inventory. These ingredients may be exempt or will require registration.</i>

**SECTION 16 Other information**

<b>Revision Date</b>	08/06/2023
<b>Initial Date</b>	08/06/2023

**SDS Version Summary**

Version	Date of Update	Sections Updated
0.2	08/06/2023	Toxicological information - Acute Health (eye), Physical and chemical properties - Appearance, CAS Number, Hazards identification - Classification, Exposure controls / personal protection - Exposure Standard, Composition / information on ingredients - Ingredients, Exposure controls / personal protection - Personal Protection (eye), Identification of the substance / mixture and of the company / undertaking - Supplier Information, Identification of the substance / mixture and of the company / undertaking - Synonyms

**Other information**

Classification of the preparation and its individual components has drawn on official and authoritative sources as well as independent review by the Chemwatch Classification committee using available literature references.

The SDS is a Hazard Communication tool and should be used to assist in the Risk Assessment. Many factors determine whether the reported Hazards are Risks in the workplace or other settings. Risks may be determined by reference to Exposures Scenarios. Scale of use, frequency of use and current or available engineering controls must be considered.

For detailed advice on Personal Protective Equipment, refer to the following EU CEN Standards:

EN 166 Personal eye-protection

EN 340 Protective clothing

EN 374 Protective gloves against chemicals and micro-organisms

EN 13832 Footwear protecting against chemicals

EN 133 Respiratory protective devices

**Definitions and abbreviations**

PC - TWA: Permissible Concentration-Time Weighted Average

PC - STEL: Permissible Concentration-Short Term Exposure Limit

IARC: International Agency for Research on Cancer

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

STEL: Short Term Exposure Limit

TEEL: Temporary Emergency Exposure Limit,

IDLH: Immediately Dangerous to Life or Health Concentrations

**Sodium dodecyl sulphate Ultrapure**

ES: Exposure Standard  
OSF: Odour Safety Factor  
NOAEL :No Observed Adverse Effect Level  
LOAEL: Lowest Observed Adverse Effect Level  
TLV: Threshold Limit Value  
LOD: Limit Of Detection  
OTV: Odour Threshold Value  
BCF: BioConcentration Factors  
BEI: Biological Exposure Index  
AIIC: Australian Inventory of Industrial Chemicals  
DSL: Domestic Substances List  
NDSL: Non-Domestic Substances List  
IECSC: Inventory of Existing Chemical Substance in China  
EINECS: European INventory of Existing Commercial chemical Substances  
ELINCS: European List of Notified Chemical Substances  
NLP: No-Longer Polymers  
ENCS: Existing and New Chemical Substances Inventory  
KECI: Korea Existing Chemicals Inventory  
NZIoC: New Zealand Inventory of Chemicals  
PICCS: Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances  
TSCA: Toxic Substances Control Act  
TCSI: Taiwan Chemical Substance Inventory  
INSQ: Inventario Nacional de Sustancias Químicas  
NCI: National Chemical Inventory  
FBEPH: Russian Register of Potentially Hazardous Chemical and Biological Substances

**Classification and procedure used to derive the classification for mixtures according to Regulation (EC) 1272/2008 [CLP]**

<b>Classification according to regulation (EC) No 1272/2008 [CLP] and amendments</b>	<b>Classification Procedure</b>
Acute Toxicity (Dermal) Category 3, H311	Expert judgement
Acute Toxicity (Oral) Category 4, H302	Expert judgement
Skin Corrosion/Irritation Category 2, H315	Expert judgement
Serious Eye Damage/Eye Irritation Category 2, H319	Expert judgement
Flammable Solids Category 1, H228	Expert judgement